

2027 年度 看護師特定行為研修 募 集 要 項



公益財団法人慈愛会 今村総合病院
看護師特定行為研修センター

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 11-23
T E L : 099-202-0171 F A X : 099-202-0270

2027年度 開講

特定行為区分	開講状況
①呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2022年度 開講
②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2020年度 開講
③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	2021年度 開講
④ろう孔管理関連	2020年度 開講
⑤栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	2025年度 開講
⑥栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	2023年度 開講
⑦創傷管理関連	2019年度 開講
⑧動脈血液ガス分析関連	2022年度 開講
⑨透析管理関連	2024年度 開講
⑩栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2019年度 開講
⑪感染に係る薬剤投与関連	2022年度 開講
⑫血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2024年度 開講
⑬循環動態に係る薬剤投与関連	2025年度 開講
⑭精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	2026年度 開講
⑮在宅・慢性期領域パッケージ	2021年度 開講
⑯救急領域パッケージ	2022年度 開講
⑰周術期麻酔管理領域パッケージ	2024年度 開講
⑱救急コース	2024年度 開講
⑲ICUコース	2024年度 開講
⑳混合病棟コース	2024年度 開講
㉑在宅コース	2024年度 開講

※標準コース：在宅・慢性期領域パッケージ、在宅コース、混合病棟コースは残枠1名、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連は残枠各3名となっております。

※出願手続き期間：（必着）

第一次募集期間：2026年7月6日（月）～2026年9月4日（金）（受付終了）

第二次募集期間：2026年10月26日（月）～2026年12月18日（金）

下記の特定行為区分については、原則として当院職員のための募集となります。

「⑬循環動態に係る薬剤投与関連」「⑭精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」

「⑥栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」

※⑥の区分のみ、自施設での実習（研修）を希望される方は外部からも受験可能です。

【⑥の自施設実習を希望される外部の皆様へ】

自施設での実習を行うにあたり、「協力施設としての申請手続き」が必要となります。

受講をご希望の方は出願前に当センターまでご連絡ください。

1. 教育理念

医師と同じ視点で考えながら、自ら判断し行動できる看護師の育成を大切にしています。

患者に最も近い存在だからこそ気づける小さな変化を大切に、日々の実践に繋がる学びを提供します。

「なるほど、そうだったのか」と感じながら、再び学ぶことの楽しさに出会える実習の場を目指します。

2. 教育目標

- 1) 地域医療および高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上で知識、技術および態度の基礎的能力を養う。
- 2) 地域医療および高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ必要な特定行為を安全に実践できる基礎的能力を養う。
- 3) 地域医療および高度医療の現場において、問題解決にむけて多職種と効果的に協働できる能力を養う。
- 4) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を養う。

3. 研修の特色

1) 研修の方法

- ・研修は e-learning・面接授業・演習・実習になります。なお、面接授業は医師・特定看護師・その他コメディカルが担当します。
- ・演習では、e-learning による課題レポートの提出、症例検討、および臨床実習前の技術習得の確認を行います。
- ・実習では、ロールプレイやシミュレーターを用いた実技の修得を行います。

2) 研修のスケジュール

・標準コース

- (1) 共通科目は、6 科目の e-learning 受講修了後、7 月末に臨床実習を行います。
- (2) 臨床実習を修了した者は、8 月に共通科目筆記修了試験を受けます。
- (3) 8 月の管理委員会にて、共通科目の修了認定を行います。
- (4) 共通科目の修了認定を受けた者は、9 月より区分別科目の研修に進みます。
- (5) 区分別科目は、選択された区分の e-learning 受講修了後、区分別科目修了筆記試験の合格、および特定行為ごとに 5 症例以上の症例取得を経て、修了判定（8 月の管理委員会にて認定）を受けます。
- (6) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の臨床実習は、協力施設である「独立行政法人国立病院機構 南九州病院」で行います。
- (7) 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連の臨床実習は、協力施設である「公益財団法人慈愛会 谷山病院」で行います。（特定行為：「抗精神病薬の臨時的投与」、「抗不安薬の臨時的投与」の 2 特定行為を実施。なお、「抗けいれん剤の臨時的投与」については今村総合病院で実施いたします。）
- (8) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の臨床実習は、「公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院」で行います。

・共通科目免除コース

- (1) 選択された区分の e-learning 受講修了後、区分別科目修了筆記試験の合格、および特定行為ごとに 5 症例以上の症例取得を経て、修了判定（8 月の管理委員会にて認定）を受けます。
- (2) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の臨床実習は、協力施設である「独立行政法人国立病院機構 南九州病院」で行います。
- (3) 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連の臨床実習は、協力施設である「公益財団法人慈愛会 谷山病院」で行います。（特定行為：「抗精神病薬の臨時的投与」、「抗不安薬の臨時的投与」の 2 特定行為を実施。なお、「抗けいれん剤の臨時的投与」については今村総合病院で実施いたします。）
- (4) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の臨床実習は、「公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院」で行います。

4. 履修コース

1) 標準コース

共通科目を受講修了後、継続して選択した区分別科目を修得するコース

2) 共通科目免除コース

指定研修機関で共通科目を修得済の方が、区分別科目のみを修得するコース

5. 募集定員

総数 30 名

1) 標準コース 19名

(1) 標準 区分別科目選択制：各区分の定員は次の通りとします。(複数の区分科目を選択可能)

特定行為区分	特定行為	定員
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱	4 名
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・ 中心静脈カテーテルの抜去	4名 (残3名)
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	4名 (残3名)
ろう孔管理関連	・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・ 膀胱ろうカテーテルの交換	2 名
創傷管理関連	・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法	2 名
動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	6 名
透析管理関連	・ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作および管理	2 名
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	6 名
感染に係る薬剤投与関連	・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	5 名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・ インスリンの投与量の調整	2 名
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・ 抗けいれん剤の臨時的投与 ・ 抗精神病薬の臨時的投与 ・ 抗不安薬の臨時的投与	2 名
循環動態に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	2 名

	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
--	--	--

* 下記の特定期行為区分については、**原則として当院職員のみ**の募集となります。

「⑬循環動態に係る薬剤投与関連」（当院職員のみ）

「⑭精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」（当院職員のみ）

「⑥栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」

※ただし、⑥の区分に限り、**自施設での実習（研修）を希望される方**は外部からも受験可能。

* 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連は院内2名、院外2名の募集となります。

* 標準コースの区分選択については、ご希望を最大限優先いたしますが、定員を超えた場合は調整させていただきます場合がございます。

（２）領域パッケージ

在宅・慢性期領域パッケージ

特定行為区分	特定行為	定員
１）呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	2名 （残1名）
２）ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
３）創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
４）栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正	

救急領域パッケージ

特定行為区分	特定行為	定員
１）呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
２）呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	・非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	・人工呼吸器からの離脱	
３）動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	
４）栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症状に対する輸液による補正	
５）精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・抗けいれん剤の臨時的投与	

周術期麻酔管理領域パッケージ

特定行為区分	特定行為	定員
１）呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
２）呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱	

3) 動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	
4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 脱水症状に対する輸液による補正	
5) 術後疼痛管理関連	・ 硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与および投与量の調整	
6) 循環動態に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	

※【領域パッケージ+区分別科目（1～2区分別科目）】の組み合わせでの受講も可能です。

(3) コース

在宅コース

特定行為区分	特定行為	定員
1) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・ 気管カニューレの交換	-2名 (残1名)
2) ろう孔管理関連	・ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	
3) 創傷管理関連	・ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法	
4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	
5) 感染に係る薬剤投与関連	・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	
6) 動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	

混合病棟コース

特定行為区分	特定行為	定員
1) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱	-2名 (残1名)
2) 腹腔ドレーン管理関連	・ 腹腔ドレーンの抜去 (腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	
3) 創部ドレーン管理関連	・ 創部ドレーンの抜去	
4) 動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	
5) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	

救急コース

特定行為区分	特定行為	定員
1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2 名
2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱	
3) 動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	
4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	
5) 感染に係る薬剤投与関連	・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	
6) 循環動態に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・ 持続点滴中の利尿薬の投与量の調整	

I C Uコース

特定行為区分	特定行為	定員
1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2 名
2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・ 侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・ 人工呼吸器からの離脱	
3) 動脈血液ガス分析関連	・ 直接動脈穿刺法による採血 ・ 橈骨動脈ラインの確保	
4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・ 脱水症状に対する輸液による補正	
5) 透析管理関連	・ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作および管理	
6) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・ インスリンの投与量の調整	

7) 循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿薬の投与量の調整	
------------------	---	--

3) 共通科目免除コース 11名（指定研修機関で共通科目を修了している者）

(1) 共通科目免除 区分別科目選択制：各区分の定員は次の通りとします。（複数の区分科目を選択可能）

特定行為区分	特定行為	定員
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	2名
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	2名
ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換	2名
動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	6名
創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	2名
感染に係る薬剤投与関連	・感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	5名
栄養および水分管理に係る薬剤投与	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	4名
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	4名
透析管理関連	・急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作および管理	2名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・インスリンの投与量の調整	2名
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	4名
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・抗けいれん剤の臨時的投与 ・抗精神病薬の臨時的投与 ・抗不安薬の臨時的投与	2名
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	2名

	・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
--	---	--

* 下記の特定期間区分については、**原則として当院職員のみ**の募集となります。

「⑬循環動態に係る薬剤投与関連」（当院職員のみ）

「⑭精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」（当院職員のみ）

「⑯栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」

※ただし、本区分に限り、**自施設での実習（研修）を希望される方**は外部からも受験可能。

* 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連は院内2名、院外2名の募集となります。

* 免除コースの区分選択については、ご希望を最大限優先いたしますが、定員を超えた場合は調整させていただきます。

6. 履修期間

1) 標準コース

共通科目を受講後、継続して区分別科目を修得するコース

教育期間：2027年4月1日～2028年3月31日

* 研修期間は原則1年です。

やむを得ない事情により期間内の修了が困難となった場合は**次年度に1年間の延長が可能です**。

(1) 標準 区分別科目選択制

(2) 在宅・慢性期領域パッケージ

(3) 救急領域パッケージ

(4) 周術期麻酔管理領域パッケージ

(5) 在宅コース (6) 混合病棟コース (7) 救急コース (8) ICUコース

2) 共通科目免除コース

指定機関で共通科目を修了している者が区分別科目を修得するコース

* 研修期間は3ヶ月～7ヶ月です。

やむを得ない事情により期間内に修了が困難となった場合は、**次年度に半年間の延長が可能です**。

* 実習スケジュールについて

実習施設の状況により、実習期間が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

(1) 共通科目免除 区分別科目選択制

研修期間	対象区分
2027年4月1日～2027年8月31日	・呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ・呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ・創傷管理関連 ・透析管理関連

	・血糖コントロールに係る薬剤投与関連
2027年4月1日～2027年8月31日	・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ・ろう孔管理関連 ・動脈血液ガス分析関連 ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・感染に係る薬剤投与関連
2027年4月1日～2027年8月31日	・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

7. 区分の選択

区分別科目ごとに開講する時期が異なります。

別紙の「年間スケジュール表」をご確認の上、区分を選択してください。

- 1) 標準 区分別科目選択制：受講できる区分別科目は、最高3区分までとなります。
- 2) 共通科目免除 区分別科目選択制：受講できる区分別科目は、最高2区分までとなります。

8. 研修の場所

- 1) e-learning 学習

自宅での受講が主となります。

*ただし、今村総合病院7階の講義室・演習室を利用することも可能です。

- 2) 面接授業・演習（OSCE含む）

今村総合病院7階の講義室・演習室で行います。

- 3) 実習

科目に応じて、下記の各施設で行います。

- ①今村総合病院（病棟・外来）
- ②呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連：独立行政法人国立病院機構 南九州病院
- ③精神及び神経症状に係る薬剤投与関連：公益財団法人慈愛会 谷山病院
- ④血糖コントロールに係る薬剤投与関連：公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院

9. 受験者の要件

当院の看護師特定行為研修を志願する者は、次の要件をすべて満たしていなければなりません。

- 1) 標準コース

- (1) 日本国の看護師免許を有すること
- (2) 看護師の資格取得後、通算3年以上の実務経験を有していること
- (3) 現在も看護実践に関わっている者（管理者、教育者を含む）
- (4) 所属する施設長の推薦がある者
- (5) 看護職賠償責任保険に加入している者（※未加入者は入講後に加入していただきます）

- 2) 共通科目免除コース

- (1) 厚生労働省が指定する「看護師特定行為研修」の指定研修機関にて共通科目を修了し、共通科目研修修了証明書を提示できる者
- (2) 当院が開講する区分を未取得であり、当院での受講を希望する者

- (3) 現在も看護実践に関わっている者（管理者、教育者を含む）
- (4) 所属する施設長の推薦がある者
- (5) 看護職賠償責任保険に加入している者（※未加入者は入講後に加入していただきます）

10. 研修内容と時間数

【共通科目】（必須）

科目名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
① 臨床病態生理学	29	1	—	1	31
② 臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
③ フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
④ 臨床薬理学	32.5	11.5	—	1	45
⑤ 疾病・臨床病態概論	37	3	—	1	41
⑥ 医療安全学／特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合 計	167	54	18.75	12.25	252

※「講義」：e-learning を利用して受講します。

※「演習」：演習課題レポートの提出および集合授業で行います。

※「実習」：集合授業（ロールプレイやシミュレーターを活用）および臨床現場で行います。

【区分別科目】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9.5	—	5症例×1	1 OSCE	11.5+ 5症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	26.5	6	5症例×4	2.5	35
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8.5	—	5症例×1	1 OSCE	10.5
ろう孔管理関連	23	—	5症例×2	4 OSCE	27
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7.5	—	5症例×1	1	8.5
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	8.5	—	5症例×1	2 OSCE	10.5
創傷管理関連	34.5	—	5症例×2	4 OSCE	38.5
動脈血液ガス分析関連	15.5	—	5症例×2	3.5 OSCE	19
透析管理関連	8.5	3	5症例×1	1	12.5
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	15.5	2	5症例×2	1.5	19
感染に係る薬剤投与関連	22.5	6	5症例×1	2	30.5

血糖コントロールに係る薬剤投与関連	12.5	3	5症例×1	2	17.5
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	23.5	4.5	5症例×3	2.5	30.5
循環動態に係る薬剤投与関連	25.5	6	5症例×5	3.5	35

※「講義」：e-learning を利用して受講します。

※「演習」：演習課題レポートの提出および集合授業で行います。

※「実習」：集合授業（ロールプレイやシミュレーターを活用）および臨床現場で行います。

【①在宅・慢性期領域パッケージ】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8.5	—	5症例×1	2 OSCE	10.5
ろう孔管理関連	16	—	5症例×1	2.5 OSCE	18.5
創傷管理関連	25.5	—	5症例×1	3 OSCE	28.5
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10.5	1	5症例×1	1	12.5

【②救急領域パッケージ】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9.5	—	5症例×1	2 OSCE	11.5
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	26.5	6	5症例×4	2.5	35
動脈血液ガス分析関連	14.5	—	5症例×2	3.5 OSCE	18
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10.5	1	5症例×1	1	12.5
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	12	2	5症例×1	1.5	15.5

【③周術期麻酔管理領域パッケージ】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9.5	—	5症例×1	2 OSCE	11.5
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	15.5	3	5症例×2	1.5	20
動脈血液ガス分析関連	14.5	—	5症例×2	3.5 OSCE	18
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	10.5	1	5症例×1	1	12.5
術後疼痛管理関連	7	1.5	5症例×1	1	9.5
循環動態に係る薬剤投与関連	10	2	5症例×1	1.5	13.5

【④在宅コース】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8. 5	—	5 症例 × 1	2 OSCE	10. 5
ろう孔管理関連	26. 5	—	5 症例 × 2	6 OSCE	35
創傷管理関連	34. 5	—	5 症例 × 2	4 OSCE	38. 5
動脈血液ガス分析関連	14. 5	—	5 症例 × 2	3. 5 OSCE	18
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	15. 5	2	5 症例 × 2	1. 5	19
感染に係る薬剤投与関連	22. 5	6	5 症例 × 1	2	30. 5

【⑤混合病棟コース】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	26. 5	6	5 症例 × 4	2. 5	35
腹腔ドレーン管理関連	8. 5	—	5 症例 × 1	1	9. 5
創部ドレーン管理関連	6	—	5 症例 × 1	1	7
動脈血液ガス分析関連	14. 5	—	5 症例 × 2	3. 5 OSCE	18
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	15. 5	2	5 症例 × 2	1. 5	19

【⑥救急コース】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9. 5	—	5 症例 × 1	2 OSCE	11. 5
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	26. 5	6	5 症例 × 4	2. 5	35
動脈血液ガス分析関連	14. 5	—	5 症例 × 2	3. 5 OSCE	18
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	15. 5	2	5 症例 × 2	1. 5	19
感染に係る薬剤投与関連	22. 5	6	5 症例 × 1	2	30. 5
循環動態に係る薬剤投与関連	25. 5	6. 5	5 症例 × 5	3. 5	35. 5

【⑦ICUコース】

区分名	時間数（時間）				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9. 5	—	5 症例 × 1	2 OSCE	11. 5
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	26. 5	6	5 症例 × 4	2. 5	35
動脈血液ガス分析関連	14. 5	—	5 症例 × 2	3. 5 OSCE	18

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	15.5	2	5症例×2	2	19
透析管理関連	8.5	3	5症例×1	1	12.5
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	12.5	3	5症例×1	2	17.5
循環動態に係る薬剤投与関連	25.5	6.5	5症例×5	3.5	35.5

【①～⑦の実施方法・評価について】

- ・「講義」：e-learning および面接授業（対面）で行います
- ・「評価」：筆記試験、OSCE（客観的臨床能力試験/実技試験）・観察評価を行います。

1.1. 出願手続き期間

【標準・免除コース】

第一次：2026年7月6日（月）～2026年9月4日（金）（受付終了）

第二次：2026年10月26日（月）～2026年12月18日（金）

1.2. 受験審査料（標準コース・免除コースのみ）

受験審査料 10,000円（税込）

- * 出願提出書類の到着確認後、振込先情報をメールにて送付いたします。
- * メール到着後1週間以内にお振込をお願いいたします。

1.3. 出願提出書類

提出書類は、下記のホームページよりダウンロードし、提出してください。

※ダウンロードした各種様式への記入は、手書き不可となります。（パソコン等で入力・作成してください）

今村総合病院看護師特定行為研修センター <https://tokutei-kangoshi.jp>

1) 標準コース（区分別科目・領域パッケージ・各コース）

- (1) 看護師特定行為研修受講申請書（様式1）
- (2) 履歴書（様式2）
- (3) 志願理由書・推薦書（様式3-1、様式3-2）
- (4) 看護師免許証（写し）

2) 共通科目免除コース

- (1) 看護師特定行為研修受講申請書（様式1）
- (2) 履歴書（様式2）
- (3) 志願理由書・推薦書（様式3-1、様式3-2）
- (4) 看護師免許証（写し）
- (5) 履修科目免除申請書（様式4）
- (6) 認定された科目の履修を証明する書類（科目修了証明書または履修証明書）
- (7) 既修得行為修了証（写し）

1.4. 出願書類提出方法

- 1) 上記の出願書類を全て揃える。
- 2) 提出書類チェックリストにて確認を行う。
- 3) 封筒に下記の提出先を記入する。

4) 封筒表左に「看護師特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きする。

5) 郵便書留で送付する。

【 提出先・問い合わせ窓口 】

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11-23

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 看護師特定行為研修センター

メールアドレス：jtokutei@jiaikai.jp TEL：099-202-0171/FAX：099-202-0270

- ※ 提出前に必ずチェックリストにて十分な確認を行ってください。
- ※ 書類の不備があった場合には原則として受け付けません。事前の確認を徹底してください。
- ※ 出願書類の到着確認および今後の選考連絡は、すべてメールにて行います。
メール受信後は随時ご確認いただき、当センターからの案内には必ずご返信をお願いいたします。

15. 受講者採用の選考

【標準コース・免除コース選考案内】

・選考日

第一次：2026年10月2日（金）

第二次：2027年 1月8日（金）

・選考内容

・標準コース：小論文：60分／個人面接試験：10分程度

・免除コース

・当研修センターで研修を既に修了している者：書類審査

・当研修センター以外で研修を修了した者：小論文：60分／個人面接：10分程度

※ 詳細につきましては、出願書類を確認の上、個別（メール）にてご連絡いたします。

16. 選考の合否発表

【標準コース・免除コース】

第一次：2026年10月16日（金）

第二次：2027年 1月15日（金）

・合否の通知は、本人へメールでお知らせいたします。

・受講書類については後日、本人宛に簡易書留にて郵送いたします。

・電話、FAX、メール等でのお問い合わせには対応いたしかねますので、ご了承ください。

17. 受講手続きおよび研修受講料について

合格通知の際に、受講手続きおよび研修受講料の振込についての詳細をご案内いたします。

受講手続きおよび研修受講料の振込については、以下のとおりです。

受講手続き・受講料振込期間：

【標準コース・免除コース】第一次：2026年11月 2日（月）～2026年11月30日（月）

第二次：2027年 1月25日（月）～2027年 2月22日（月）

・研修受講料は、同封の「受講料銀行振込依頼書」をご確認のうえ、お振込ください。

・振込手数料は振込者のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

・お振込いただいた受講料につきましては、理由の如何を問わず返金いたしかねますので、ご了承ください。

研修受講料（税込）

共通科目（標準コース必修）	慈愛会内 １５０，０００円	院外 ３３０，０００円
---------------	---------------	-------------

区分別科目（税込）

特定区分名	受講料（税込）	備考（内訳）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	５０，０００円	教材費１０，０００円含む
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	９０，０００円	—
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	６０，０００円	教材費２０，０００円含む
ろう孔管理関連	１００，０００円	教材費４０，０００円含む
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	１５，０００円	—
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	５０，０００円	教材費２０，０００円含む
創傷管理関連	１００，０００円	教材費２０，０００円含む
動脈血液ガス分析関連	５０，０００円	教材費２０，０００円含む
透析管理関連	３０，０００円	—
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	４５，０００円	—
感染に係る薬剤投与関連	４０，０００円	—
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	３０，０００円	—
循環動態に係る薬剤投与関連	３０，０００円	—
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	４０，０００円	—
在宅・慢性期領域パッケージ	２００，０００円	教材費４８，０００円含む
救急領域パッケージ	２００，０００円	教材費３０，０００円含む
周術期麻酔管理領域パッケージ	２００，０００円	教材費３３，０００円含む
在宅コース	３００，０００円	教材費５０，０００円含む
混合病棟コース	１５０，０００円	教材費２０，０００円含む
救急コース	３００，０００円	教材費３０，０００円含む
ＩＣＵコース	３００，０００円	教材費３０，０００円含む

※研修受講料は、許可された科目の合計金額となります。

※慈愛会内の方は、e-learning 共通科目受講済みのため演習・実習の経費のみとなります。

※上記の他、必要に応じて教材等経費が別途必要になる場合があります。

18. 個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた個人情報は、当院の看護師特定行為研修およびこれらに付随する事項にのみ利用し、他の目的には一切利用いたしません。

19. その他

【教育訓練給付金制度（特定一般教育訓練給付金）】

当院が開講する特定行為研修は、一部講座が「特定一般教育訓練給付金」の支給対象講座に指定されています。特定一般教育訓練給付金の詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

特定一般教育訓練給付金の支給対象講座は、以下の科目となります。

（現在対象外の科目につきましても、今後順次、指定申請を予定しております）

- 在宅・慢性期領域パッケージ
- 周術期麻酔管理領域パッケージ
- 在宅コース
- 混合病棟コース
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 動脈血液ガス分析関連
- ろう孔管理関連
- 創傷管理関連

【主たる研修場所】

鹿児島市鴨池新町 11-23 公益財団法人慈愛会 今村総合病院

- ・面接授業・演習：B棟7階 看護師特定行為研修センター講義室・演習室
- ・実習場所：今村総合病院（病棟・外来）

【交通アクセス】

- ・市営バス：「ニュータウン中央」バス停下車徒歩 約2分／「県庁前」バス停下車 徒歩約5分
- ・市電：「郡元」電停下車 徒歩約15分
- ・お車の場合：専用の駐車場はありません。近隣の県営駐車場をご利用ください。



【呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連の実習場所】

協力施設：独立行政法人国立病院機構 南九州病院

〒 899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1882



【ろう孔管理関連・創傷管理関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連】

公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院

鹿児島市堀江町 17-1



【精神及び神経症状に係る薬剤投与関連】

公益財団法人 谷山病院

鹿児島市小原町 8-1

